

## 第160回新生ふくしま復興推進本部会議 議事録

- 日時：令和8年4月9日（木） 11：36～11：45
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

### 【鈴木副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議を開催いたします。  
議題「令和9年度政府予算対策」について、企画調整部長。

### 【企画調整部長】

資料1をご覧ください。県政を取り巻く環境について、当県の復興・再生に向けては、今後も中長期にわたる継続的な取組が必要です。そのような中、地域によって復興の進捗は大きく異なっているほか、新たな課題やニーズが顕在化しており、引き続き、地域の状況に応じたきめ細かな対応が重要です。

第3期復興・創生期間は、避難者の帰還等を一層進めなければならない、極めて重要な期間であり、これまで以上に力強い取組が不可欠です。

原子力災害からの復興・再生は、国の社会的責任の下、国が前面に立ち、最後まで取り組むことが大前提です。

中長期にわたり切れ目なく安心感を持って復興への挑戦を続けるため、引き続き、十分な財源と枠組み、復興を支える制度を力強く求める必要があります。

こうした状況を踏まえ、取組方針をまとめました。

市町村等と連携することや、部局長が先頭に立ち協議・調整を行うこと、そして風化が進む中で、事業の必要性が分かりやすく伝わるよう、現場主義を徹底し、具体的な事例や根拠に基づき、熱意を持って丁寧に説明することが重要です。

主な提案・要望項目は、右に記載の5つとしております。

その他も含めて、具体的な内容は十分精査し、遺漏のないよう要望してまいります。

各部局におかれては、こうした方針に基づき対応をよろしくお願いいたします。

### 【鈴木副知事】

今の説明に関して、危機管理部。

**【危機管理部長】**

東京電力福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取組につきまして、今後も本格的な燃料デブリの取り出しなど、前例のない困難な作業が続くことから、安全かつ着実な廃炉の実現に向け、国が前面に立ち、総力を挙げて取り組むよう求めるとともに、ALPS処理水の海洋放出についても、行動計画に基づき政府一丸となって、万全の対策を徹底的に講じるよう求めてまいります。

さらに、激甚化・頻発化する自然災害に備えた対策に必要な財政措置や、被災者が速やかに生活再建を図るための支援制度の拡充などについて、国に求めてまいります。

**【鈴木副知事】**

風評・風化戦略担当理事。

**【風評・風化戦略担当理事】**

風評・風化対策につきましては、未だ根強く残る風評と年々進む風化に対応するため、引き続き、市町村や関係団体と連携した国内外への正確な情報発信や農林水産業・観光業等の風評払拭に資する予算の確保を粘り強く求めてまいります。

**【鈴木副知事】**

避難地域復興局。

**【避難地域復興局長】**

避難地域の復興につきましては、避難指示が解除された地域における帰還に向けた環境づくり、特定帰還居住区域における避難指示解除の早期実現、避難者の安定した生活の確保や再建の支援、さらには、移住・定住の促進や首都圏を中心に移住を見据えた交流・関係人口の拡大を図るなど、必要な予算や施策について、市町村や各部局と連携し、粘り強く国に求めてまいります。

**【鈴木副知事】**

生活環境部。

**【生活環境部政策監】**

除去土壌等の県外最終処分につきましては、2045年3月までの具体的な工程表を速やかに明示し、政府一丸となって、最後まで責任を持って確実に対

応するよう強く求めてまいります。

また、先月更新した環境省との連携協力協定に基づき、未来志向の環境施策を着実に進めるため、必要な措置を求めてまいります。

このほか、避難地域における公共交通の確保や野生鳥獣対策等に必要な復興財源の継続的な措置を求めてまいります。

**【鈴木副知事】**

保健福祉部。

**【保健福祉部長】**

被災者の心のケア、健康不安の解消、医療・介護提供体制の整備など、保健医療福祉の復興・再生に向けた取組のため、切れ目のない支援の継続を求めてまいります。

また、双葉地域における中核的病院の整備及び開院に向けた人材確保等に要する予算を始め、第3期復興・創生期間においても必要となる財源について、しっかり確保されるよう求めてまいります。

加えて、医療・介護人材の確保など、県民の保健医療福祉サービスの充実に必要な予算についても、引き続き求めてまいります。

**【鈴木副知事】**

商工労働部。

**【商工労働部長】**

被災12市町村の事業・生業の再建に向けた支援や企業立地補助金について、市町村の意見や地域の実情を踏まえながら、継続を求めてまいります。

また、福島イノベーション・コースト構想の更なる推進のため、スタートアップ等の呼び込み、実用化開発、県内企業とのマッチング支援等を通じ、再生可能エネルギー・水素関連や医療関連など新たな産業の育成・集積を始めとする本県産業の復興に必要な予算の確保を求めてまいります。

**【鈴木副知事】**

農林水産部。

**【農林水産部政策監】**

避難地域等を始めとする本県農林水産業の復興につきましては、風評の払拭

や営農再開の加速化と広域的産地の形成、森林・林業の再生、水産業再生の加速化に必要な予算の確保について、国に求めてまいります。

また、これまでの取組や成果を踏まえ、第3期復興・創生期間以降も見据えた中長期的に必要な施策や財源確保について、しっかりと国に求めてまいります。

**【鈴木副知事】**

土木部。

**【土木部長】**

避難地域の復興・再生に向け、復興拠点や産業拠点、周辺市町村とのアクセス強化等に必要な道路網の整備に加え、流域治水プロジェクトの推進などの防災・減災、国土強靱化、さらには、にぎわい創出に向けたまちづくり等について、必要となる財源の確保などを求めてまいります。

**【鈴木副知事】**

警察本部。

**【警察本部長】**

県警察としましては、治安面から復興・創生を強力に支援するため、地方警察官の増員継続によるパトロール強化のほか、交通状況の変化に適切に対応するための交通安全施設等、被災地域における安全確保に資する予算について、引き続き、国に要望してまいります。

**【鈴木副知事】**

教育庁。

**【教育長】**

教職員の加配やスクールカウンセラーの配置継続、「福島ならではの」教育の推進など、創造的な教育復興の実現に向け、第3期復興・創生期間においても確実に取組を継続できるよう、必要な財源確保に努めてまいります。

また、イノベ構想を支える人材育成について、F-R-E-Iとの連携も図りながら、初等中等教育段階からシームレスに取り組むことができるよう、国に対し、必要な予算を求めてまいります。

**【鈴木副知事】**

他にありますか。

なければ、政府予算対策については原案のとおり決定することといたします。知事からお願いいたします。

**【知事】**

今月から、第3期復興・創生期間がスタートしました。

この5年間は、避難者の帰還や移住の促進、生活環境の整備、産業・生業の再生など、これまで以上に力強い取組を進めていかなければなりません。

各部局においては、それぞれの取組を着実に進めてください。

また、こうした取組を進めていく上で、重要となるのが、毎年度、必要となる予算を確実に確保することです。

第3期復興・創生期間の5年間における復興財源の総額は示されていますが、各年度の予算の確保に向けては、毎年度の財政当局との厳しい折衝を行う必要があります。

先月、震災と原発事故から15年が経過し、福島復興を進めていく上で、風化との戦いは厳しさを増しています。

国において風化があってはなりません、担当の方は1年1年代わっていきます。

私自身、2月に各省庁の幹部の皆さんにお話をし、直接、対面で福島の現状をお伝えしてきました。

各部局においても、部局長を先頭に、カウンターパートとなる省庁と積極的にコミュニケーションを図り、福島の実情や課題を分かりやすく、丁寧に説明をしてください。

その際、大事なことは、我々自身の復興に向けた想いと、現場の生の声です。

引き続き、職員一人一人が「現場主義」を徹底しながら、国に対して言うべきことはしっかりと言い、予算確保に向けた協議・調整に県庁一丸となって全力で取り組んでください。

**【鈴木副知事】**

次に、報告事項「環境省との連携協力協定」について、生活環境部長。

**【生活環境部政策監】**

資料2を御覧ください。環境省との連携を強化し、未来志向の環境施策を推進していくため、去る3月29日に連携協力協定を締結しましたので、御報告

いたします。

資料中段の協定の概要を御覧ください。本協定の基本的な考え方として、福島県と環境省が連携し、「ふくしまグリーン復興構想の推進」、「気候変動対策の推進」、「循環経済を目指した施策の推進」の3つの柱に基づく施策に取り組むとともに、本協定を効果的に実施するため、「福島ならではの」魅力の国内外への発信等を行ってまいります。

新たな取組として、資料赤枠のふくしまグリーン復興構想については、対象エリアを県全域に広げ、自然公園の活用による更なる交流人口の拡大を図るほか、資料青枠の循環経済を目指した施策については、太陽光パネルのリサイクルなど、廃棄物の発生抑制や資源を循環的に利用できる仕組みづくりにより、循環経済を推進する新産業や企業活動を創出してまいります。

こうした取組を通じ、福島の復興を更に前へ進めるため、関係部局とも連携を図りながら、関連施策の推進に取り組んでまいりますので、引き続き御協力をお願いいたします。

**【鈴木副知事】**

これに関して、何かありますか。

なければ、以上で会議を終了します。